

要請番号（JL23918B12）

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ホンジュラス	G101 青少年活動		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名（日本語）

教育省

2) 配属機関名（日本語）

フランシスコ・モラサン県教育事務所

3) 任地（オホホナ市） JICA事務所の所在地（テグシガルパ市）

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間（バスで 約 1.0 時間）

4) 配属機関の規模・事業内容

フランシスコ・モラサン県教育事務所は、県内28市の基礎教育にかかる政策・予算・人事の管理を行っている機関で、「財務」「人材能力」「調達」「教育サービス」「企画」「カリキュラム・評価」「教育制度」の7つの局から成る。同事務所には120名のスタッフが在籍しており、教員研修を担当する「カリキュラム・評価局」には5名のスタッフが配属されている。政府からの予算は人件費のみで、教員研修等の活動のための安定的な予算は確保されていない。なお、派遣予定のオホホナ市には現在、基礎教育第1.2サイクル(日本の小学校課程に相当)を擁する公立学校が16校、中高校が1校登録されている。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

2014年1月末に発足した新政権により、2018年から初等教育での英語教育が義務化されることとなった。そのため、2015年より小学校の教員を対象にした英語教育に関する研修を開始したが、研修制度は未だ整備されていないのが現状である。このような状況下、英語を専門としない教員が授業を行っているため、誤った文法や発音を教えている事も多く教員の知識向上が急務となっている。現職教員に対する教授法の紹介等を通して、英語教育の質の向上に寄与出来る人材を求めて、本要請が出された。また隣接する技術中高等学校にはホテル・飲食業コース(高等部)があるが、ホテルやレストランで使う英会話やボキャブラリーの授業が十分に行われていない。授業内容や教材を改善するための支援をすることが求められている。授業に使用する教材、教材が揃っていない環境での活動となることから、授業を展開するための創意工夫が求められている。

2) 予定されている活動内容（以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます）

- ボランティアはモデル校の小学校教員及び高校の英語担当教員と協力し、主に以下の活動を行う。
- 1.小学校で英語の授業を観察しながら、教員に対して歌やゲームを取り入れた授業案の提案をする。
 - 2.身近に入手できる物を使った補助教材の作成を支援する。
 - 3.高校のホテル・飲食業コースの英語授業を観察し、教材や授業内容を改善するための支援をする。
 - 4.市教育事務所と協力し、地域の小学校教員用の研修会を計画、実施する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

ホワイトボード、机、椅子

4) 配属先同僚及び活動対象者

市教育事務所長(40代)
市教育事務所スタッフ(20代～40代)
活動校校長(40代から50代)

小学校教員(20代から50代)
高校英語教員(50代)
生徒(小学校6歳～12歳、高校生15歳～18歳)

5) 活動使用言語	6) 生活使用言語	7) 選考指定言語
スペイン語	スペイン語	英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（中学校又は高校学校教諭(英語)） [学歴]：（ ） 備考：
[性別]：（ ） 備考： [経験]：（ ） 備考：
[参考情報]：
・接客業の経験があれば尚可。

任地での乗物利用の必要性
不要

【地域概況】

[気候]：（温暖湿潤気候） 気温：（15～30℃位） [電気]：（不安定）
[通信]：（インターネット可 電話可 無線） [水道]：（不安定）

【特記事項】